



「勢ぞろい」 撮影 原口 たかつぐ氏



桜島フェリー

桜島フェリー就航80周年記念誌

鹿児島市船舶局

〒891-1419 鹿児島県桜島町横山61-4
☎099-293-2525 FAX 099-293-2972
E-MAIL spsou-soumu@city.kagoshima.lg.jp

桜島フェリー就航80周年記念誌

SAKURAJIMA FERRIES

80

1934~2014





鹿児島市長
森 博幸

ごあいさつ

鹿児島市船舶事業は、今年で80周年を迎えることができました。これもひとえに、多くの方々のご支援、ご協力の賜物であり、心から感謝申し上げます。

昭和9年、当時の西桜島村が、村民の生活・通学航路として集落の船14隻を買収し、村営の船舶事業として統一ある運航を開始したのが桜島フェリーの始まりです。昭和16年には貨物自動車3台を搭載できる櫻島丸を建造し、わが国のカーフェリーの草分けとなりました。その後、戦中、戦後の困難な時代を克服し、陸上交通の発展に併せて昭和35年から船舶の鋼船化が図られ、昭和59年4月からは24時間運航を実施しております。平成16年11月には鹿児島市と桜島町など周辺5町が合併し、4番目の公営企業として事業が継承されました。

現在、一層積航送船2隻、二層積航送船4隻を保有しており、“安全・快適24時間運航”を掲げ、桜島地域と鹿児島市街地のみならず、薩摩・大隅両半島を結ぶ重要な公共交通機関として、年間に約520万人の輸送人員、約153万台の車両を運び、世界でも有数の輸送量を誇っています。

なお、現在保有している第五櫻島丸の代替船として、平成27年4月に桜島フェリーにおいて3隻目のバリアフリー船であり、2隻目の電気推進船となる二層積の新船(第二櫻島丸、愛称:サクラフェアリー)が就航する予定となっております。

観光船としては、貸切船としてもご利用いただいているほか、本市を代表する観光資源である桜島へのアクセスとして寄与するとともに、昭和53年に始めた桜島納涼観光船は、今では鹿児島夏の風物詩として定着しています。また、平成23年3月から、神瀬や大正溶岩原沖を巡るよりみちクルーズの本格運航を開始し、平成25年11月には、乗客の累計が5万人を超えました。これらに加え、平成25年9月に正式運航を開始した錦江湾魅力再発見クルーズでは、錦江湾奥を巡り、日本ジオパークに認定された桜島・錦江湾ジオパークを体感できるクルーズとして、県内外から多くの方々にご乗船いただいております。

現在、桜島フェリーを取り巻く環境は、船舶燃料費の高騰、桜島地域や大隅半島地域の人口減少や少子高齢化の進行、高速道路の大隅半島への延伸など、厳しいものがあります。しかし、企業努力を怠ることなく、これからも公共交通機関として、お客様へ安全、快適なサービスを提供するとともに、公営企業として、地域社会の発展に寄与して参ります。

今後とも、本市船舶事業へのご支援、ご協力をお願い申し上げます。



目次

事業概要	2p
桜島港	4p
鹿児島港本港区	5p
船舶の紹介	6p
歴代船舶	8p
安全で快適な運航	10p
納涼観光船	14p
よりみちクルーズ	16p
錦江湾魅力再発見クルーズ	18p
資料編	20p
あゆみ	22p
桜島・錦江湾ジオパーク	36p



『歓迎の噴煙』撮影 山田 宏作氏

桜島フェリー事業概要

桜島フェリーは、昭和9年に旧西桜島村が船舶事業を開始して以来、桜島地域と市街地のみならず、薩摩・大隅両半島を結ぶ海上交通機関として重要な役割・使命を担いながら、平成26年度で80周年を迎えました。この間、平成16年11月1日には、旧桜島町との合併に伴い、本市が船舶事業を引き継ぎ、第4番目の公営企業として事業を開始しました。

平成27年度以降は、第五桜島丸の代替船として、4月に就航する第二桜島丸(愛称:サクラフェアリー)の特色を活かしたロングクルーズ等を実施するとともに、貸切船での利用促進を図り、県内外でのPRや誘致活動を強化します。また、「桜島港施設整備計画」に基づき、平成30年度の完成を目指し、桜島港の施設整備に取り組むとともに、桜島・錦江湾のジオ(地球・大地)を丸ごと体感してもらう錦江湾の湾奥を巡る錦江湾魅力再発見クルーズを春期と秋期で合計12回実施するほか、神瀬から大正溶岩原沖を巡り、海上から桜島と錦江湾の魅力を身近に感じてもらう、よりみちクルーズ船を引き続き毎日運航することとしております。

桜島フェリーは、本市における総合的な交通体系の中に位置づけられ、桜島へのアクセスとして、本市の観光振興と地域の活性化に寄与するとともに、災害発生時には、救難船舶としての役割を果たします。そのため、桜島の大噴火に備えた避難港での船舶離着岸訓練及び情報伝達訓練を、全船で毎年度行っているところです。

船舶事業の経営環境は、桜島の山体膨張による観光客の減少や、東九州自動車道の延伸、桜島、大隅半島における住民の減少、船舶燃料価格の高止まり、平成29年度に予定されている消費税増税、更に今後、老朽化施設の整備及び船舶の建造等を行う必要があるなど、ますます厳しくなることが見込まれることから、平成24年度に作成した鹿児島市船舶事業経営計画(平成25~34年度)を踏まえ、今後とも安全で快適な運航、効率的な事業運営に努めてまいります。



60周年記念公園の碑



60周年記念公園全景(70周年リニューアル)



70周年記念碑

桜島港



鹿児島市から錦江湾を隔てて海上約4kmの位置にある桜島は、大正3年の大噴火の溶岩流出により大隅半島と陸続きとなり、その玄関口には、年間約520万人の旅客・約153万台の車両が行き交う桜島港があります。

桜島港は昭和16年11月袴腰海岸の埋め立て・自動車搭載用岸壁港工事に着工し、昭和18年9月に完成しました。その後、昭和28年に地方港湾として袴腰港が指定され、時代の推移とともに進歩し、昭和42年100mの岸壁が完成、昭和44年から同47年までの継続事業として桜島港湾フェリー接岸壁が完成、鉄筋コンクリート3階建フェリーターミナル、人道橋、第3パースの可動橋および2階積可動橋が整備されました。この間、昭和46年12月袴腰港を桜島港に改名しました。

また、平成5年9月に桜島港ターミナルビル全面改修工事に伴い、エスカレーター2基が設置され、平成13年9月には桜島港ターミナルビル高齢者対策改修工事に伴うエレベーター1基が設置されました。現在は平成23年度に策定した「桜島港施設整備計画」に基づき、パースの整備を行うとともに、老朽化していたフェリーターミナルの建替を予定し、平成30年度の完成を見込んでいます。

新ターミナルは、桜島の玄関口にふさわしい外観を持ち、バリアフリー化を図るとともに、耐震性を確保し、災害時の避難所として役割も果たすものとなります。



鹿児島港本港区

SAKURAJIMA FERRIES
80
1934~2014



古くは約200年前、9代藩主島津齊宣、10代齊興の時代、琉球貿易が盛んになるにつれ、波止場荷役護岸を建設し、港として利用したのが始まりと言われ、明治時代になると海運業の繁栄に伴い、重要港湾の指定を受けました。その後、歳月の流れとともに航路が著しく発展し、現在では、桜島フェリー、種子・屋久等の離島航路の発着拠点となり、県内の物流の中心的役割を担っています。

桜島棧橋は、桜島港と同様、昭和18年9月に自動車搭載用岸壁が完成し、可動橋建設等を経て、昭和40年4月に鹿児島港ターミナルビル接岸施設が完成しました。その後、ターミナルビルの老朽化に伴い、現在の鹿児島港ターミナルビルが平成10年4月に完成し、桜島フェリー利用者の憩いの場として活用されています。



船舶の紹介

第五櫻島丸

船名	第五櫻島丸
船舶の種類	汽船
船質	鋼
起工年月	平成元年11月
進水年月	平成2年2月
竣工年月	平成2年3月
船舶所有者	鹿児島市
総トン数	600.00トン
船の長さ	53.00m
船の幅	13.00m
船の喫水	2.50m
積載面積	トラック甲板 422.00㎡ 乗用車甲板
積載能力	客室 144.50㎡ 大型車両 10台 乗用車 乗組員 12名 旅客定員 488名
船舶番号	第131362号
主機の種類	ディーゼル発動機
連続最大出力	1,029KW
航海速度	10.5ノット



第十三櫻島丸

船名	第十三櫻島丸
船舶の種類	汽船
船質	鋼
起工年月	平成3年9月
進水年月	平成3年12月
竣工年月	平成4年2月
船舶所有者	鹿児島市
総トン数	731.00トン
船の長さ	53.00m
船の幅	13.00m
船の喫水	2.60m
積載面積	トラック甲板 438.00㎡ 乗用車甲板
積載能力	客室 175.95㎡ 大型車両 10台 乗用車 乗組員 12名 旅客定員 478名
船舶番号	第132650号
主機の種類	ディーゼル発動機
連続最大出力	1,471KW
航海速度	10.5ノット



第十五櫻島丸

船名	第十五櫻島丸
船舶の種類	汽船
船質	鋼
起工年月	平成6年8月
進水年月	平成6年10月
竣工年月	平成7年1月
船舶所有者	鹿児島市
総トン数	1134.00トン
船の長さ	56.10m
船の幅	13.50m
船の喫水	2.80m
積載面積	トラック甲板 495.00㎡ 乗用車甲板
積載能力	客室 314.00㎡ 大型車両 10台 乗用車 36台 乗組員 12名 旅客定員 738名
船舶番号	第133578号
主機の種類	ディーゼル発動機
連続最大出力	2,059KW
航海速度	11ノット



第十六櫻島丸

船名	第十六櫻島丸
船舶の種類	汽船
船質	鋼
起工年月	平成10年7月
進水年月	平成10年11月
竣工年月	平成11年1月
船舶所有者	鹿児島市
総トン数	997.00トン
船の長さ	54.02m
船の幅	13.40m
船の喫水	2.80m
積載面積	トラック甲板 488.40㎡ 乗用車甲板
積載能力	客室 263.00㎡ 大型車両 10台 乗用車 32台 乗組員 14名 旅客定員 736名
船舶番号	第136413号
主機の種類	ディーゼル発動機
連続最大出力	1,765KW
航海速度	10.5ノット



第十八櫻島丸

船名	第十八櫻島丸
船舶の種類	汽船
船質	鋼
起工年月	平成14年8月
進水年月	平成14年12月
竣工年月	平成15年2月
船舶所有者	鹿児島市
総トン数	1279.00トン
船の長さ	56.10m
船の幅	13.50m
船の喫水	2.80m
積載面積	トラック甲板 431.70㎡ 乗用車甲板
積載能力	客室 272.80㎡ 大型車両 10台 乗用車 32台 乗組員 14名 旅客定員 674名
船舶番号	第136836号
主機の種類	ディーゼル発動機
連続最大出力	2,058KW
航海速度	10.8ノット

櫻島丸

船名	櫻島丸
船舶の種類	汽船
船質	鋼
起工年月	平成22年4月
進水年月	平成22年11月
竣工年月	平成23年2月
船舶所有者	鹿児島市
総トン数	1,330.00トン
船の長さ	57.36m
船の幅	13.50m
船の喫水	3.10m
積載面積	トラック甲板 480.00㎡ 乗用車甲板
積載能力	客室 342.00㎡ 大型車両 9台 乗用車 32台 乗組員 16名 旅客定員 657名
船舶番号	第141356号
主機の種類	ディーゼル発電機
連続最大出力	2,000KW
航海速度	11ノット



第二櫻島丸

船名	第二櫻島丸
船舶の種類	汽船
船質	鋼
起工年月	平成26年4月
進水年月	平成26年11月
竣工年月	平成27年3月
船舶所有者	鹿児島市
総トン数	1,404トン
船の長さ	59.00m
船の幅	13.50m
船の喫水	3.10m
積載面積	トラック甲板 約560㎡ 乗用車甲板
積載能力	客室 約350㎡ 大型車両 10台 乗用車 30台 乗組員 14名 旅客定員 600名
船舶番号	第1404トン
主機の種類	ディーゼル発電機
連続最大出力	2,000KW
航海速度	11ノット

歴代の船舶



船舶の種類	汽船	積載能力	貨物自動車 3台 旅客定員 170名
竣工年月	昭和16年5月	主機の種類	焼玉エンジン
船舶所有者	西桜島村	連続最大出力	120PS
総トン数	113.11トン		
船の長さ	25.00m		
船の巾	7.31m		
船の吃水	2.18m		



進水年月	昭和26年4月	積載能力	旅客定員 252台
竣工年月	昭和26年5月	主機の種類	ディーゼル発動機
船舶所有者	西桜島村	連続最大出力	120PS
総トン数	74.73トン		
船の長さ	20.78m		
船の巾	4.92m		
船の吃水	2.00m		



船舶の種類	汽船	積載面積	トラック甲板 399.58㎡ 客室 112.50㎡
船質	鋼	積載能力	大型バス 10台 乗組員 14名 旅客定員 486名
起工年月	昭和42年6月	船舶番号	第102247号
進水年月	昭和42年10月	主機の種類	ディーゼル発動機
竣工年月	昭和42年11月	連続最大出力	450PS×2
船舶所有者	西桜島村	航海速力	10.5ノット
総トン数	468.29トン		
船の長さ	43.00m		
船の巾	12.40m		
船の吃水	1.87m		



船舶の種類	汽船	積載面積	トラック甲板 399.58㎡ 客室 112.50㎡
船質	鋼	積載能力	大型バス 10台 乗組員 14名 旅客定員 486名
起工年月	昭和44年4月	船舶番号	第106467号
進水年月	昭和44年7月	主機の種類	ディーゼル発動機
竣工年月	昭和44年9月	連続最大出力	450PS×2
船舶所有者	西桜島村	航海速力	10.5ノット
総トン数	485.44トン		
船の長さ	43.03m		
船の巾	12.40m		
船の吃水	1.90m		



進水年月	昭和28年5月	積載能力	バス 4台 旅客定員 516名
竣工年月	昭和28年9月	主機の種類	ディーゼル発動機
船舶所有者	西桜島村	連続最大出力	400PS
総トン数	234.65トン		
船の長さ	29.95m		
船の巾	9.20m		
船の吃水	2.58m		



船舶の種類	汽船	積載能力	大型バス 10台 乗組員 12名 旅客定員 500名
船質	鋼	主機の種類	ディーゼル発動機
起工年月	昭和35年	連続最大出力	320PS×2
進水年月	昭和35年7月		
竣工年月	昭和35年9月		
船舶所有者	西桜島村		
総トン数	495.60トン		
船の長さ	43.83m		
船の巾	7.31m		
船の吃水	2.18m		



船舶の種類	汽船	積載面積	トラック甲板 375.72㎡ 乗用車甲板 331.75㎡ 客室 110.60㎡
船質	鋼	積載能力	大型バス 10台 乗用車 30台 乗組員 20名 旅客定員 628名
起工年月	昭和47年5月	船舶番号	第114826号
進水年月	昭和47年9月	主機の種類	ディーゼル発動機
竣工年月	昭和47年10月	連続最大出力	1000PS×2
船舶所有者	西桜島村	航海速力	11ノット
総トン数	588.05トン		
船の長さ	50.01m		
船の巾	12.60m		
船の吃水	2.10m		



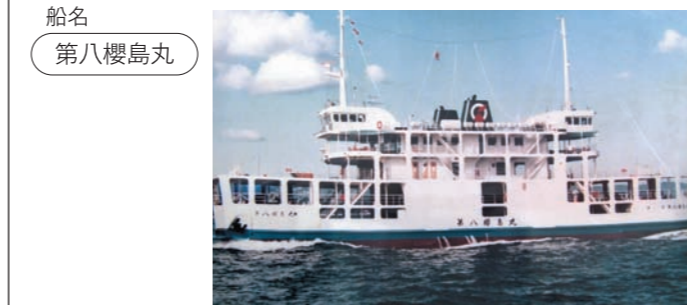
船舶の種類	汽船	積載面積	トラック甲板 375.72㎡ 乗用車甲板 331.75㎡ 客室 110.60㎡
船質	鋼	積載能力	大型バス 10台 乗用車 30台 乗組員 12名 旅客定員 636名
起工年月	昭和51年11月	船舶番号	第120577号
進水年月	昭和51年12月	主機の種類	ディーゼル発動機
竣工年月	昭和52年2月	連続最大出力	1000PS×2
船舶所有者	桜島町	航海速力	10.5ノット
総トン数	582.18トン		
船の長さ	47.02m		
船の巾	12.60m		
船の吃水	2.10m		



船舶の種類	汽船	積載能力	大型バス 8台 乗組員 14名 旅客定員 340名
船質	鋼	主機の種類	ディーゼル発動機
進水年月	昭和38年3月	連続最大出力	210PS×2
船舶所有者	西桜島村		
総トン数	438.38トン		
船の長さ	45.73m		
船の巾	10.06m		
船の吃水	2.59m		



船舶の種類	汽船	積載能力	大型バス 10名 旅客定員 510名
船質	鋼	主機の種類	ディーゼル発動機
進水年月	昭和39年8月	連続最大出力	450PS×2
竣工年月	昭和39年10月		
船舶所有者	西桜島村		
総トン数	491.99トン		
船の長さ	48.60m		
船の巾	12.40m		
船の吃水	3.40m		



船舶の種類	汽船	積載面積	トラック甲板 378.80㎡ 乗用車甲板 380.15㎡ 客室 140.80㎡
船質	鋼	積載能力	大型バス 10台 乗用車 30台 乗組員 12名 旅客定員 738名
起工年月	昭和54年5月	船舶番号	第123268号
進水年月	昭和54年10月	主機の種類	ディーゼル発動機
竣工年月	昭和54年12月	連続最大出力	1000PS×2
船舶所有者	桜島町	航海速力	10.5ノット
総トン数	647.39トン		
船の長さ	47.03m		
船の巾	13.00m		
船の吃水	2.15m		



船舶の種類	汽船	積載面積	トラック甲板 438.00㎡ 客室 144.50㎡
船質	鋼	積載能力	大型バス 10台 乗組員 12名 旅客定員 488名
起工年月	昭和62年8月	船舶番号	第129498号
進水年月	昭和62年10月	主機の種類	ディーゼル発動機
竣工年月	昭和62年11月	連続最大出力	700PS×2
船舶所有者	桜島町	航海速力	10.5ノット
総トン数	502.00トン		
船の長さ	53.00m		
船の巾	12.80m		
船の吃水	2.50m		

安全で快適な運航

24時間運航で鹿児島～桜島間のみならず、薩摩・大隅両半島を結び安全・快適な海の公共交通機関。



客室

人に優しく、安全性と快適さを兼ね備えた冷暖房完備の客室は、乗客が憩える空間です。レジャーやビジネス等のすべての方々に、ひとときの休息・素敵な船旅を提供します。



展望スペース

各船にある展望スペースからは、雄大な桜島や波静かな錦江湾、遠く霧島連山まで眺望できます。潮風に吹かれながら、快適な船旅をご堪能ください。



軽食・売店

桜島フェリーオリジナルグッズや軽食等、お客様の要望に応えた品揃えです。また、温かいうどん・そばも好評をいただいております。



今日も一日、笑顔で無事故。小さな親切、大きな信頼。

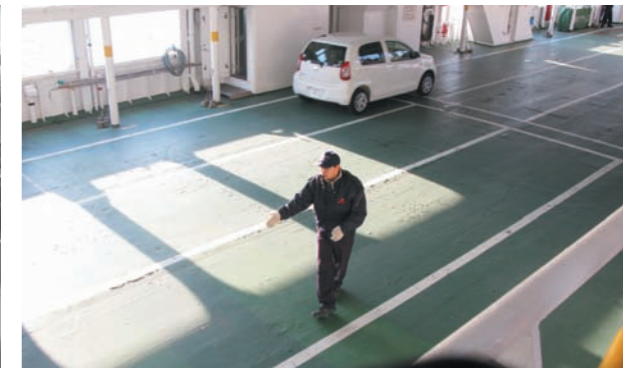
安全、快適な運航のためにプロフェッショナルな仕事を遂行します。



操舵室



車両甲板



人動橋

納涼観光船

桜島納涼観光船

昭和53年に運航を開始した、雄大な桜島と鹿児島市街地の夜景を堪能しながら、波静かな錦江湾で、水中花火や宴等を楽しむことができるナイトクルーズ。鹿児島の夏の風物詩として、例年、市民はもとより県内外から多くの人々で賑わいます。

洋上の夏祭り気分を盛り上げる

船内2階では、ステージショーや乗船者参加型のクイズ大会など、子どもからお年寄りまで様々なイベントが楽しめます。



充実の飲食メニュー

4階の洋上ビアガーデンや2階の売店、うどんコーナー、1階のフードワゴンコーナーでは、納涼船限定の鹿児島ならではのオリジナルメニューを準備するなど、飲食物も充実しています。

チャータークルーズ (貸切船) を楽しむ

四季折々に表情を変える錦江湾から眺める景色を楽しみながら、広々とした船内で好みのクルージングが楽しめます。会社や各種団体の親睦・記念イベントや会議のほか、同窓会、結婚式などの大切な思い出づくりに…



よりみちクルーズ



鹿児島港を出港し、活火山桜島と錦江湾の魅力を海上から身近に楽しんでいただきながら約50分間で桜島港へ至る片道運航のプチクルーズ。『ふだん見ることのできない桜島の顔』が楽しめます。

船内では、桜島の噴火の歴史や、神瀬や沖小島、大正溶岩原などについての観光アナウンスが流れるほか、観光ボランティアガイドも乗船しています。



錦江湾魅力再発見クルーズ

錦江湾魅力再発見クルーズ

鹿児島港を出港し、雄大な活火山桜島を背景に錦江湾の湾奥を巡る約2時間20分のクルーズ。春と秋に運航し、ふだん鹿児島市側から見られない江戸時代にできた新島や、今もなお活発な噴煙をあげ続ける昭和火口など、桜島・錦江湾ジオパークの魅力を感じられます。

船内では、『桜島と錦江湾』『錦江湾の生きもの』についての専門家による講演が行われます。



噴煙を上げる昭和火口



新島



中之島 (通称：軍艦島)



●桜島港側陸上施設

Table with 2 columns: 区分 (Division) and 仕様 (Specifications). Lists various facilities like terminals, warehouses, and pumps with their respective details.

●鹿児島港側陸上施設

Table with 2 columns: 区分 (Division) and 仕様 (Specifications). Lists facilities on the Kagoshima side, including terminals, pumps, and bridges.

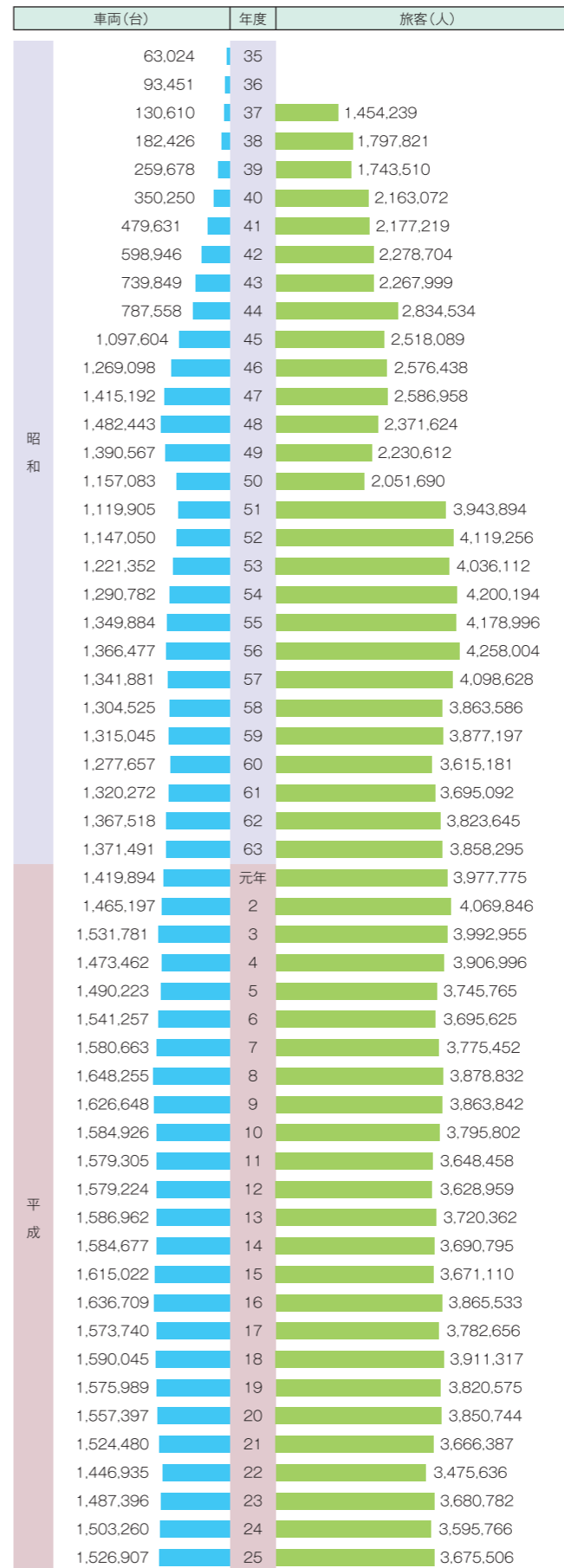
●昭和9年度以降財政規模の変遷状況

Table showing financial trends from 1934 to 2014. Columns include 年度 (Year), 収入 (Income), 支出 (Expenditure), and 収支差引 (Balance).

(単位:千円)

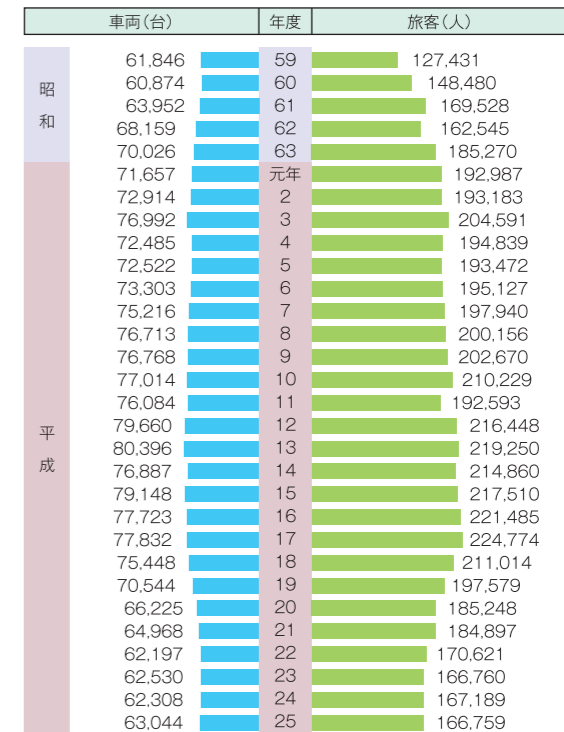
Table showing annual financial data from 1949 to 2014. Columns include 年度 (Year), 収入 (Income), 支出 (Expenditure), and 収支差引 (Balance).

●旅客・車両輸送量



※旅客の昭和51年以降については、延べ人員数(定期券、回数券を含む)で集計

●深夜便実績(再掲)



●よりみちクルーズ船実績(再掲)

Table showing Yomichi Cruise Ship performance from 1922 to 1925. Columns include 年度 (Year), 運航日数 (Operating days), 大人 (Adults), 小児 (Children), 合計 (Total), 車両台数 (Vehicle count), and 収益(千円) (Revenue).

●納涼観光船・貸切船実績

Table showing performance of cooling sightseeing and charter ships from 1953 to 2014. Columns include 年度別 (Yearly), 区分 (Division), 運航日数 (Operating days), 納涼観光船 (Cooling sightseeing), 貸切船 (Charter), and 収益(千円) (Revenue).

●錦江湾魅力再発見クルーズ実績

Table showing performance of the Kinko Bay Charm Rediscovery Cruise from 2015 to 2016. Columns include 年度 (Year), 運航日数 (Operating days), 大人 (Adults), 小児 (Children), 合計 (Total), and 収益(千円) (Revenue).

桜島フェリーのあゆみ

昭和9年 ●国より2万円を借り(当時の村税収入年間30,000円、船舶収入12,544円)部落船14隻を23,000円で買収し、その内老朽船や小型船を漸次とう汰して比較的大型船のみを残し発着時刻及び運賃を定め、統一ある運航を開始
当時の運賃／白浜-鹿児島 15銭
赤生原-鹿児島 10銭



昭和10年 ●郵便物通送料
従来、上原伊佐氏が運送していたが、昭和9年西桜島村が交通事業を開始するに当たり、所有船2隻を村に売却したため、昭和10年6月21日通第4081号をもって郵便物通送について契約。昭和10年7月1日より実施



昭和11年 ●鷹島丸を購入 G/T35.91 M SD58 定員107名 昭和8.3進水
●溶岩道路開通:垂水-袴腰間



昭和12年 ●えびす丸購入 G/T40.22 L 18.79 B3.84 D1.19 M SD10 定員71名 昭和6.8進水 9ノット

昭和14年10月28日 ●袴腰港を起点とした船車連絡運輸を開始(袴腰-松浦間) 当時の袴腰-鹿児島間運賃 25銭



昭和15年5月10日 ●鹿児島県知事宛 船賃願提出 昭和16年12月12日許可

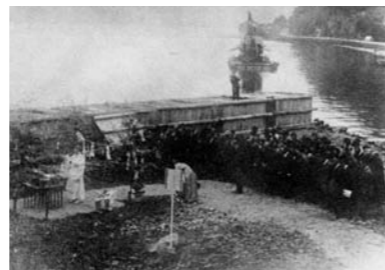
使用船	G/T	定員	ME	速力
第一櫻島丸	16.48	69	SD32	8
第二櫻島丸	10.97	40	SD21	7
えびす丸	40.22	71	SD10	9
八重丸	4.99		SD12	

月間運航回数:袴腰-鹿児島間 210回
各部落-鹿児島間 60回

昭和16年5月 ●櫻島丸(貨物自動車3台搭載可能)を建造 工事費9万円
建造地 熊本県天草郡御領村 松本三代松

昭和17年2月25日 ●使用船:えびす丸・鷹島丸・櫻島丸(桜島-鹿児島間)
昭和17年4月1日 ●旅客運賃改定 30銭

昭和18年9月 ●鹿児島-桜島港 自動車搭載用岸壁完成
着工:昭和16年11月 工事費:15万円
※潮の干満により適宜移動して自動車を搭載できるように岸壁の高さを数段階にする



昭和19年7月1日 ●自動車航送開始 使用船:櫻島丸

昭和20年 ●第五姫戸丸購入
G/T34.36 L16.95 B3.73 D1.68
定員99名 M SD46 昭7.6進水

昭和20年3月9日 ●旅客運賃改定 50銭

昭和21年1月1日 ●旅客運賃改定 1円

昭和22年3月1日 ●旅客運賃改定 2円
昭和22年3月5日 ●使用船:櫻島丸・第五姫戸丸・八重丸
運航回数:1日12便なるも燃料規制により
1日4回、月間120回

昭和22年9月8日 ●旅客運賃改定 5円

昭和23年4月28日 ●旅客運賃改定 15円
引続き 5月18日 26円に改定

昭和24年10月22日 ●旅客定期航路事業免許申請

昭和25年1月4日 ●旅客定期航路事業免許(九州第94号)
使用船:櫻島丸・第二櫻島丸・第五姫戸丸
運航回数
武-袴腰-鹿児島航路 1日6回[櫻島丸・第五姫戸丸]
白浜-鹿児島航路 1日2回[第二櫻島丸]
白浜-武航路 1日2回[第二櫻島丸]

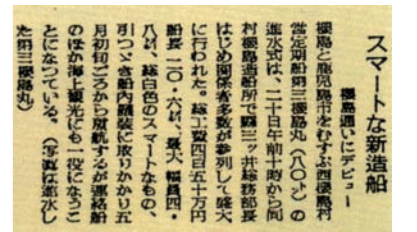
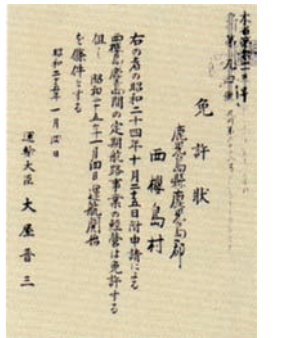
昭和25年6月20日 ●運航回数増 武-袴腰-鹿児島航路(1日8回)

昭和26年1月1日 ●運航回数増 武-袴腰-鹿児島航路(1日12回)
昭和26年5月20日 ●第三櫻島丸建造
使用船舶変更
武-袴腰-鹿児島航路[櫻島丸・第三櫻島丸・第五姫戸丸]
白浜-鹿児島航路[第二櫻島丸]、
白浜-武航路[第二櫻島丸]

昭和26年10月 ●ルー台風による被害 第一櫻島丸大破 第五姫戸丸沈没

昭和27年7月21日 ●事業計画変更(航路・使用船・発着時刻)
昭和27年9月15日 ●使用船変更(船名・要目)
昭和27年10月20日 ●運航回数増(1日13回)発着時刻変更

昭和28年9月1日 ●第五櫻島丸建造
自動車搭載可能台数 バス4台
使用船:第一、三、五、六櫻島丸



桜島フェリーのあゆみ

- 昭和30年1月25日 ●旅客運賃改定 30円
- 昭和30年1月31日 ●発着時刻変更
- 昭和30年9月30日 ●発着時刻変更

- 昭和31年5月1日 ●発着時刻変更
- 昭和31年11月26日 ●発着時刻変更
- 昭和31年1月16日 ●免許番号変更本省 第9113号
- 昭和31年4月 ●各部落の個人所有貨客船28隻を村が総額1,796万円で買収し、使用出来る船舶は修理整備する

- 昭和32年5月17日 ●西桜島村各部落-鹿児島間・旅客不定期航路事業が許可される
- 昭和32年9月10日 ●旅客定期航路事業(武-袴腰-鹿児島航路)増便13回→14回
- 昭和32年8月7日 ●桜島一周道路完成 自衛隊施工

- 昭和33年5月8日 ●武-袴腰-鹿児島航路の起点変更(武抜航路)袴腰-鹿児島航路となる

- 昭和33年10月1日 ●発着時刻変更
- 昭和33年10月20日 ●使用船変更
第三桜島丸は自動車航送船に改造、旅客定員を12名とし、自動車専用船として不定期航路事業で運航することになり使用船より除く

船名	総トン数	旅客定員	備考
第5姫戸丸	34.36t	127名	第5姫戸丸は引退後改造し船名を第6桜島丸と変更
第6桜島丸	43.39t	135名	
桜島丸	113.11t	桜島丸	第1桜島丸の定員は自動車とう載時のもの
第1桜島丸	156.98t	第1桜島丸	

※第1桜島丸が自動車をとう載しない時の旅客定員 456名



■使用船

船名	総トン数	L	B	D	定員	主機	速度	進水年月
第7桜島丸	19.57	16.90	4.36	1.21	59	SD 40	5	S 27.5
第8桜島丸	19.82	16.15	4.41	1.21	51	40	5	27.3
第9桜島丸	15.73	15.00	3.56	1.33	74	35	5	26.6
第11桜島丸	15.84	16.10	3.48	1.27	59	25	4	27.12
第12桜島丸	16.59	15.62	3.92	1.25	56	25	4	28.10
第13桜島丸	19.09	16.50	4.58	1.18	54	30	5	27.12
第15桜島丸	13.62	15.23	3.35	1.25	60	25	4	25.11
第16桜島丸	17.54	15.10	4.27	1.24	57	30	5	26.9
第17桜島丸	15.81	15.56	3.60	1.28	60	25	4	26.7
第18桜島丸	16.76	15.15	3.70	1.45	51	20	4	23.4
第19桜島丸	13.72	15.00	3.50	1.25	62	30	5	26.6
第20桜島丸	15.34	15.00	3.33	1.39	56	20	4	23.4
第22桜島丸	13.71	15.00	3.25	1.28	69	20	4	26.5

- 昭和34年12月1日 ●国鉄袴腰駅委託事務-乗車券販売
国鉄連絡運輸事務-荷物発送・連絡切符発売(六大都市及び九州全線)
●省営(国鉄)接続荷物中継、荷物配達作業請負事務(日本通運株式会社)

種別	1ヶ月運賃(円)		備考
	新	旧	
普通定期	600	450	通勤者並びに大人定期
通学定期	200	170	

- 昭和35年7月1日 ●定期券運賃改定認可
- 昭和35年8月23日 ●船名変更第六桜島丸(旧第五姫戸丸)→第十桜島丸
●第六桜島丸建造(104,000千円)
大型バス10台積載可能本格的な自動車航送船(鋼船)として就航
- 昭和35年8月31日 ●桜島-鹿児島両港に可動橋建設建設費7,618,527円

- 昭和36年3月31日 ●発着時刻変更
- 昭和36年9月24日 ●発着時刻変更
- 昭和36年11月24日 ●発着時刻変更

- 昭和37年4月19日 ●発着時刻変更
- 昭和37年5月25日 ●旅客不定期航路事業の使用船より第十五桜島丸を除く(本船は新島の中学生の桜島への通学用に使うため)
- 昭和37年11月15日 ●台風28号のため第一桜島丸坐礁破損
- 昭和37年11月17日 ●国民宿舎さくらじま荘営業開始
- 昭和37年12月14日 ●水中翼船さくらじま購入価格 14,300千円
袴腰-鹿児島航路に朝1便就航運賃 100円
同船の航行区域を右の通り設定する

- 昭和38年3月14日 ●第二桜島丸購入 50,000千円
国鉄宇高連絡船第二宇高丸を買収の上、改造大型バス8台積載可能
●第一桜島丸修理完成
船首客室を車両甲板に改造し車両搭載台数を8台とする
G/T 110.82 L25.00 B7.31 D2.18
定員90名 MSD120

- 昭和38年9月10日 ●第十桜島丸老朽化のため、使用船より除く
- 昭和38年10月12日 ●旅客不定期航路(西桜島各部落-鹿児島)使用船より第二十桜島丸を除く(売却)

- 昭和39年8月 ●船名変更第八桜島丸→第二十桜島丸
- 昭和39年10月17日 ●第八桜島丸竣工(123,000千円)
大型バス10台積載可能
- 昭和39年11月26日 ●運航回数増(1日14回→1日23回)発着時刻変更

- 昭和40年4月 ●鹿児島港ターミナルビル(村負担額10,000千円)接岸施設(同5,150千円)完成
- 昭和40年6月1日 ●自動車航送運賃改定【運賃推移表を参照】
- 昭和40年12月8日 ●第一桜島丸売船南国交通㈱
- 昭和40年12月10日 ●鹿児島港第2可動橋(9,669千円)人道橋(6,331千円)完成



旅客不定期航路(鹿児島港内周遊)

Aコース	袴腰-有村崎-鴨池沖-袴腰	25km
Bコース	袴腰-瀬戸崎-新島-三船-磯-袴腰	40km
Cコース	袴腰-有村-高須-指宿-知林-袴腰	100km
G/T	9.19 L10.00 B2.60 D1.21	
定員	13名 M E275 35節 昭37.9進水	



■自動車航送運賃

車種	区分	実車(円)		空車(円)
		一般	小学生	
バス	7m迄	1,200	1,000	750
	9 "	1,800	1,350	900
	11 "	2,500	1,750	1,000
	11mを超える	3,000	2,100	1,200
乗用車	3m迄	400		
	4 "	500		
	4.5 "	550		
	5 "	700		
	5mを超える	800		
	3m迄	300		
トラック	3m迄	300		
	4 "	450		
	5 "	550		
	6 "	600		
	7 "	750		
	8 "	1,000		
	9 "	1,300		
	10 "	1,600		
	11 "	1,900		
	12mを超える	2,500		

桜島フェリーのあゆみ

- 昭和41年4月30日 ●第一櫻島丸竣工(145,000千円)
大型バス10台積載可能
運航回数増(1日23回→1日30回)発着時刻変更
- 昭和41年11月30日 ●桜島港第二可動橋(13,186千円)完成
- 昭和41年12月9日 ●運航回数増(1日30回→1日45回) 昭和42.2.1実施

- 昭和42年3月15日 ●第五櫻島丸売船南国交通(株)
- 昭和42年9月1日 ●旅客不定期航路事業(西桜島村各部落-鹿児島)
- 昭和42年11月13日 ●運航回数増(1日45回→1日60回)
昭和42.11.20実施
第五櫻島丸竣工(166,500千円)
大型バス10台積載可能

- 昭和43年4月1日 ●旅客定期航路事業(黒神口-鹿児島航路)
(九州第566号)を鹿児島市から譲受する
※九州海運局長認可昭和43年4月30日
使用船:ひまわり 売船価格2,550千円
航路権価格800千円
G/T 19.45 L14.94 B3.71 D1.40
定員80名 M D90 昭和38.11進水

- 昭和43年9月18日 ●旅客不定期航路事業(白浜-新島-浦之前)航路の開設
通学並びに夏季海水浴場旅客輸送の為
白浜-新島間 通学生は除く大人 30円
使用船:第十五櫻島丸

- 昭和43年11月19日 ●自動車航送特殊手荷物の割引制度実施

- 昭和44年8月1日 ●水中翼船、旅客不定期航路事業(鹿児島港内周遊)の廃止
- 昭和44年9月29日 ●第三櫻島丸竣工(182,680千円)
大型バス10台積載可能
- 昭和44年10月31日 ●桜島港ターミナルビル完成(115,076千円)
- 昭和44年11月10日 ●桜島港人道橋(13,500千円)
歩道橋(14,500千円)完成

- 昭和45年3月3日 ●旅客定期航路事業(袴腰-鹿児島航路)のうち、
水中翼船を廃止する
- 昭和45年11月1日 ●旅客定期航路事業(袴腰-鹿児島航路)
免許番号変更:九州第2028号



- 昭和47年10月10日 ●昭和47.2.15 鹿児島港帝国倉庫を75,500千円で購入
昭和47.10.10 倉庫解体土地整地を行いモータープールとして使用
整地費用:4,215千円

- 昭和47年10月12日 ●第十櫻島丸竣工(221,200千円)
大型バス10台、乗用車30台積載可能

- 昭和47年10月20日 ●桜島港二階積可動橋(33,000千円)
人道橋(38,289千円)完成
鹿児島港車道橋(15,000千円)完成

- 昭和47年11月1日 ●桜島-鹿児島航路運航回数並びに発着時刻の変更(60回→81回)
- 昭和47年11月 ●桜島港湾フェリー-接岸壁完成(237,864千円)
昭和44年から昭和47年までの継続事業

- 昭和47年11月15日 ●旅客不定期航路事業(西桜島村各港-鹿児島航路)使用船変更
(新)第九、十六櫻島丸2隻運航

- 昭和47年12月25日 ●旅客定期航路事業(桜島-鹿児島航路)の使用船変更
予備船第二櫻島丸売船に伴い使用船から除外する
売船価格:4,300千円

- 昭和48年5月1日 ●名称変更:西桜島村を桜島町にする

- 昭和48年10月26日 ●旅客不定期航路事業(桜島町各港-鹿児島航路)
使用船舶から第九、十六櫻島丸を除外し、同航路は事業休止となる

- 昭和49年2月1日 ●旅客定期航路事業(桜島-鹿児島航路)の運賃改定(制度改正による)自動車航送運賃制度の改正により、車種別長さの運賃制度から、
車種にかかわらず車両の長さによる運賃制度となる
【運賃推移表を参照】

- 昭和49年2月6日 ●旅客定期航路事業(黒神口-鹿児島航路)
発着時刻並びに運航回数の変更(減便)

- 昭和49年2月8日 ●旅客不定期航路事業(白浜-新島-浦之前航路)の使用船変更
(新)第十五櫻島丸 (旧)第十三櫻島丸

- 昭和49年5月20日 ●旅客定期航路事業(桜島-鹿児島航路)
発着時刻並びに運航回数の変更(季節ダイヤの設定)

- 昭和49年7月26日 ●旅客不定期航路事業(白浜-新島-浦之前航路)の事業廃止
新島に在住する小・中学生を桜島本島に輸送することを主目的とした
もので、一般旅客の輸送はほとんどなく赤字が続き、合理化計画の一
つとして同航路を廃止する。なお、小・中学生は黒神-鹿児島航路に
振替える

- 昭和49年8月20日 ●旅客定期航路事業(桜島-鹿児島航路)の運賃改定
旅客運賃:大人30円→50円に改定
定期券割引(1)通勤定期600円
(2)通学定期200円
自動車航送運賃【運賃推移表を参照】



■自動車航送運賃(昭49.2.1改定)

区分	運賃
3m未満	350円
3m以上 4m未満	450円
4m " 5m "	550円
5m " 6m "	650円
6m " 7m "	750円
7m " 8m "	1,000円
8m " 9m "	1,300円
9m " 10m "	1,600円
10m " 11m "	1,900円
11m " 12m "	2,200円
12m以上 1m増すごとに	300円

■自動車航送運賃(昭49.8.20改定)

区分	運賃
3m未満	500円
3m以上 4m未満	600円
4m " 5m "	750円
5m " 6m "	900円
6m " 7m "	1,050円
7m " 8m "	1,400円
8m " 9m "	1,800円
9m " 10m "	2,200円
10m " 11m "	2,600円
11m " 12m "	3,000円
12m以上 1m増すごとに	400円

桜島フェリーのあゆみ

- 昭和50年11月1日 ●旅客定期運賃改定
通勤定期券600円→1,000円に改定
通学定期券200円→300円に改定
- 昭和50年12月1日 ●旅客定期航路事業(桜島-鹿児島航路)の
季節ダイヤ廃止

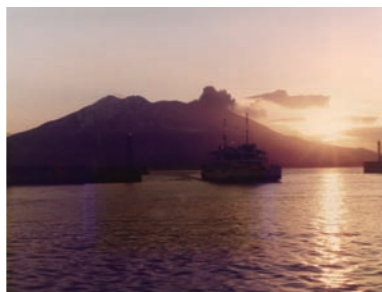
- 昭和51年3月26日 ●旅客定期航路事業(黒神口-鹿児島航路)の
一部区間廃止
廃止航路:黒神口-各港-鹿児島間
なお、浦之前-新島航路は通学生の為に残す
- 昭和51年4月1日 ●(公営事業法の一部適用)
交通事業の財務に関し地方公営企業法(昭和27年法律
第292号。以下「法」という)の第3条から第6条まで第17
条から第35条まで、第40条から第41条まで及び同法附
則第2項から第4項までの規定を適用開始
- 昭和51年4月28日 ●旅客定期航路事業(浦之前-新島航路)の事業廃止。
以降、行政機関(桜島町役場)によりスクールボートとして
運航
- 昭和51年12月1日 ●旅客定期航路事業(桜島-鹿児島航路)の運賃改定
旅客運賃:大人50円→60円に改定
通勤定期券:1,000円→1,200円に改定
通学定期券:300円→400円に改定
自動車航送運賃【運賃推移表を参照】

- 昭和52年3月 ●第六櫻島丸竣工(390,100千円)
大型バス10台、乗用車30台積載可能
- 昭和52年4月 ●料金徴収にケント方式を導入
- 昭和52年4月1日 ●鹿児島港車両誘導業務委託開始
- 昭和52年7月18日 ●旅客定期航路事業(桜島-鹿児島航路)の使用船舶変更
予備船第六櫻島丸売船に伴い、使用船から除外する
- 昭和52年7月31日 ●旧第六櫻島丸 売船 長崎県(株)清水商会
売船価格:14,000千円
新船を第六櫻島丸と命名した事により
旧第六櫻島丸を予備船に編入する

- 昭和53年6月27日 ●旅客不定期航路事業(鹿児島湾内周遊航路)の事業免許
事業内容/納涼船観光事業
運航期間/毎年7月から8月まで(但し、お盆期間は除く)

航路	運賃	距離
Aコース(鹿児島本港-喜入沖)	600円	40km
Bコース(鹿児島本港-海潟沖)	600円	40km
Cコース(鹿児島本港-新島沖)	600円	40km

平常ダイヤ
自2月10日 至12月9日 1日81回
季節ダイヤ
自12月10日 至2月9日 1日81回
桜島で生産されるみかん、大根等の生産品を
鹿児島市場により早く搬送する為、時期を
限定し増便する。



■自動車航送運賃(昭51.12.1改定)

区分	運賃
3m未満	600円
3m以上 4m未満	750円
4m 〃 5m 〃	1,000円
5m 〃 6m 〃	1,250円
6m 〃 7m 〃	1,450円
7m 〃 8m 〃	1,900円
8m 〃 9m 〃	2,450円
9m 〃 10m 〃	3,000円
10m 〃 11m 〃	3,550円
11m 〃 12m 〃	4,100円
12m以上 1m増すごとに	550円



- 昭和54年2月6日 ●旅客不定期航路事業(鹿児島湾内周遊航路)の
事業計画変更
運航期間の変更
(新)年間随時運航(貸切船運航を含む)
(旧)毎年7月から8月まで(但し、お盆期間は除く)
 - 昭和54年5月31日 ●旅客不定期航路事業(桜島町各港-鹿児島航路)の
事業廃止
 - 昭和54年12月 ●第八櫻島丸竣工(446,000千円)
大型バス10台、乗用車30台積載可能

 - 昭和55年7月11日 ●旅客不定期航路事業(運賃改定)
- | 納涼船運賃 | 大人 | 小人 |
|-----------------|------|------|
| 昭和53年7月8日(旧運賃) | 600円 | 300円 |
| 昭和55年7月11日(新運賃) | 800円 | 400円 |
-
- 昭和56年8月20日 ●旅客定期航路事業(桜島-鹿児島航路)の運賃改定
旅客運賃:大人60円→100円、小人30円→50円に改定
通勤定期券:1,200円→2,000円に改定
通学定期券:400円→650円に改定
自動車航送運賃【運賃推移表を参照】

 - 昭和59年1月20日 ●24時間(昼夜)運航の事業計画変更認可
運航回数7往復増便及び発着時刻変更
 - 昭和59年4月1日 ●24時間(昼夜)運航開始(162便→176便)
鹿児島港午後10時30分、桜島港午後11時00分より
 - 昭和59年5月 ●桜島港車両誘導業務委託開始
●桜島フェリー50周年記念式典

 - 昭和60年1月~12月(年間) ●昭和35年以来の記録的噴火、
降灰噴火回数537回 爆発回数474回
鹿児島市降灰量15,908g/m²

 - 昭和62年11月14日 ●桜島港第1可動橋を二階積用可動橋に建設、完成。
建造費:98,000千円
 - 昭和62年11月20日 ●櫻島丸(総トン数498t・1層積み)竣工
林兼船渠(株) 建造費:332,720千円
 - 昭和62年12月10日 ●第一櫻島丸売船 城山観光(株) 売船価格:25,000千円

 - 昭和63年12月15日 ●発着時刻の変更
176便中における両港発6時45分のダイヤ調整



桜島フェリーのあゆみ

- 消費税導入に伴う一般旅客定期航路事業(桜島-鹿児島航路)の運賃改定
旅客運賃:消費税転嫁せず
自動車航送運賃【運賃推移表を参照】
自動二輪車運賃:240円→250円に改定
- 消費税導入にともなう旅客不定期航路(鹿児島湾内周遊航路)の運賃改定
大人:800円→820円、小人:400円→410円に改定

- 第五桜島丸(総トン数575t・1層積み)竣工
林兼船渠(株) 建造費:488,426千円

- 旧第五桜島丸売船
大和海事貿易事務所(インドネシア向け)
売船価格:9,800千円

- 第十三桜島丸(総トン数699t・1層積み)竣工
讃岐造船(株) 建造費:761,685千円

- 第三桜島丸売船
東京フレイティング(株)(インドネシア向け)
売船価格:15,500千円

- 一般旅客定期航路事業(桜島-鹿児島航路)の運賃改定
旅客運賃:大人100円→130円、
小人50円→70円に改定
通勤定期券:2,700円→3,510円に改定
通学定期券:900円→1,170円に改定
通学定期券(小人):450円→590円に改定
自動車航送運賃【運賃推移表を参照】
手荷物運賃
自転車80円→100円に改定
原付(125ccまで)160円→200円に改定
自動二輪車(750cc未満)250円→300円に改定
自動二輪車(750cc以上)250円→400円に改定
※上記手荷物運賃(自転車・単車)の定期券設定
(片道1回運送する運賃を60倍したものを4割引)

- 旅客不定期航路事業(鹿児島湾内周遊航路)の運賃改定
大人820円→1,000円、小人410円→500円に改定

- 国道220号線の垂水小浜地区での集中豪雨などによる全面通行止の為、大幅輸送減となる
(8月12日より連続6日間の全面通行止)

- 桜島港ターミナルロータリー建設
総工事費:26,586千円

- 桜島港人車道橋塗装工事
総工事費:57,680千円

■自動車航送運賃(平成元年.4.1改定)

区分	運賃
3m未満	720円
3m以上	920円
4m 〃 5m 〃	1,240円
5m 〃 6m 〃	1,550円
6m 〃 7m 〃	1,750円
7m 〃 8m 〃	2,320円
8m 〃 9m 〃	2,940円
9m 〃 10m 〃	3,610円
10m 〃 11m 〃	4,270円
11m 〃 12m 〃	4,890円
12m以上 1m増すごとに	620円



■自動車航送運賃(平4.4.1改定)

区分	運賃
3m未満	800円
3m以上 4m未満	1,050円
4m 〃 5m 〃	1,450円
5m 〃 6m 〃	1,800円
6m 〃 7m 〃	2,000円
7m 〃 8m 〃	2,650円
8m 〃 9m 〃	3,350円
9m 〃 10m 〃	4,100円
10m 〃 11m 〃	4,850円
11m 〃 12m 〃	5,550円
12m以上 1m増すごとに	650円



- 船舶備品倉庫北岸壁に完成
- 鉄筋コンクリート造:92,416㎡ 総工事費:22,632千円
- 国道220号線の垂水小浜地区で連続12日間におよぶ全面通行止となり深刻な影響を受ける。
この年、延べ30日の通行止となる
- 桜島港ターミナルビル全面改修完成
エスカレーター2基設置 総工事費:337,694千円

- 一般旅客定期航路事業(桜島-鹿児島航路)の運賃改定
旅客運賃:大人130円→150円、
小人70円→80円に改定
通勤定期券:3,510円→4,050円に改定
通学定期券:1,170円→1,350円、
小人590円→680円に改定

- 深夜運航10周年記念事業
10年間の輸送量
【旅客】1,772,326人 【車両】691,427台

- 初の女性船員誕生
- 交通事業創業60周年記念イベント
「錦江湾還暦クルージング」参加者517名

- 交通事業創業60周年記念イベント
「フェリー利用感謝ゴルフコンペ」参加者227名

- ターミナル構内に「フェリー創立60周年記念公園」建設
総工事費:8,755千円

- 第十五桜島丸(総トン数1,134t・2層積み)竣工
林兼船渠(株) 建造費:947,600千円
「愛称チェリークイーン」

- 桜島フェリー60周年記念式典
- 第十桜島丸売船売船価格:40,100千円

- 回数自動車航送運賃の改定(6枚綴回数券)
- 桜島港北側駐車場舗装整備工事
総工事費:26,471千円

- 自動車航送運賃改定【運賃推移表を参照】
- 旅客不定期航路事業(鹿児島湾内周遊)の船船使用料改定

2層積船舶	納涼船運航 期間内	472,500円
	〃 期間外	425,250円
1層積船舶	納涼船運航 期間内	378,000円
	〃 期間外	340,200円

- 鹿児島港人車道橋竣工
総工事費:477,035千円
鹿児島港桜島棧橋全面移転



■自動車航送運賃(平9.4.1改定)

区分	運賃
3m未満	820円
3m以上 4m未満	1,070円
4m 〃 5m 〃	1,480円
5m 〃 6m 〃	1,830円
6m 〃 7m 〃	2,040円
7m 〃 8m 〃	2,700円
8m 〃 9m 〃	3,420円
9m 〃 10m 〃	4,180円
10m 〃 11m 〃	4,940円
11m 〃 12m 〃	5,660円
12m以上 1m増すごとに	660円

桜島フェリーのあゆみ

- 平成11年1月25日 ●第十六櫻島丸(総トン数997t・2層積み)竣工
讃岐造船(株)建造費:1,071,912千円
「愛称ドルフィンライナー」
- 平成11年3月20日 ●第六櫻島丸売船
(株)リオグランデ(フィリピン向け)
売船価格:36,000千円
- 平成11年7月25日 ●鹿児島港人道橋安全対策工事 総工事費:2,447千円
- 平成11年10月 ●料金徴収精算事務電算機器・同システム開発
-
- 平成12年6月 ●コンビニエンスストアチケット割引制度(旅客・車両)の導入
- 平成12年7月10日 ●鹿児島港第三人道橋竣工 総工事費:72,566千円
- 平成12年9月29日 ●公共駐車場整備工事 総工事費:46,157千円
-
- 平成13年2月21日 ●第十五櫻島丸設備改造 総工事費:6,091千円
- 平成13年2月26日 ●鹿児島港立体駐車場建設 総工事費:56,307千円
鉄骨ラーメン構造一層二段自走式669.06㎡
収容可能台数70台
- 平成13年12月11日 ●桜島港人道橋屋根取付工事 総工事費:3,045千円
- 平成13年12月26日 ●桜島港ターミナルビル高齢者対策改修
総工事費:25,828千円
エレベータ設置
-
- 平成15年2月10日 ●第十八櫻島丸(総トン数1,279t・2層積み)竣工
[バリアフリー基準適応船、船内にエレベータ設置、
客室段差解消、身障者用トイレ、点字案内、
車椅子移動可能]
長栄造船(株)建造費:1,044,435千円
「愛称プリンセスマリナー」
- 平成15年3月15日 ●第八櫻島丸売船 (株)清水商会(シンガポール向け)
売船価格:38,325千円
- 平成15年6月20日 ●桜島港人道橋滑止舗装工事 総工事費:1,187千円
-
- 平成16年8月30日 ●桜島フェリー就航70周年モニュメント除幕
- 平成16年11月1日 ●鹿児島市、吉田町、桜島町、喜入町、松元町、郡山町の合併
●鹿児島市の4番目の公営企業として事業開始
(地方公営企業法の全部を適用)
-
- 平成17年1月 ●船舶部WANの構築
- 平成17年4月1日 ●カゴシマシティビュー1日バスポート所持者に対する割引の設定
- 平成17年7月20日 ●夏休みチャレンジバス所持者に対する割引の設定
- 平成17年8月3日 ●第1回船舶モニター会議
- 平成17年10月 ●一般旅客定期航路事業(桜島-鹿児島航路)の基準航路の見直し(試行)
- 平成17年12月1日 ●第1回船舶事業経営審議会



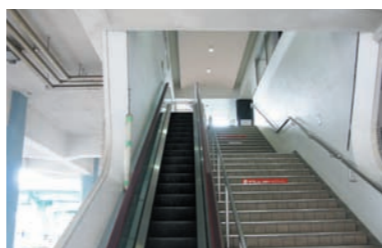
- 平成18年4月1日 ●一般旅客定期航路事業(桜島-鹿児島航路)の基準航路の見直し(本格実施)
●財務会計システムの供用開始
●桜島港車両料金所運賃収納業務の夜間部分の委託
●鹿児島港乗船券売所の営業時間拡大(嘱託職員対応)
●コンビニエンスストアチケット割引率の見直し(10%⇒5%)
- 平成18年6月1日 ●船舶乗務嘱託員(深夜・OB嘱託員除く)の採用開始
- 平成18年6月14日 ●納涼船に係るファミリー乗船旅客運賃・団体旅客運賃の設定及び高齢者割引の設定
-
- 平成19年3月1日 ●桜島港駐車場の有料化(100円/日)
- 平成19年4月1日 ●ICカードシステムの供用開始(旅客運賃)
●桜島港車両料金所運賃収納業務の昼間部分の委託(第三ゲートは直営)
- 平成19年7月21日 ●SUNQバス全九州所持者に対する割引の設定
-
- 平成20年1月6日 ●「篤姫館」入館者に対する割引の設定
- 平成20年4月1日 ●料金徴収・精算事務・車輛台数管理システムの導入
●桜島港車両料金所運賃収納業務の全部委託
●コンビニマイカー往復割引の導入(割引率10%)
- 平成20年6月1日 ●ICカードシステムでの敬老バスの自動引き落とし開始
●SUNQバス全九州への参加
- 平成20年8月 ●観光案内等を掲載した職員用携帯ハンドブック「潮風とともに」の発行
- 平成20年10月 ●桜島フェリー初のオリジナルパンフレット「桜島観光ガイド」の発行
- 平成20年11月11日 ●安全管理システムマニュアルの運用開始
-
- 平成21年3月19日 ●国土交通省より、船舶の安全運航と海洋の汚染防止のための体制を確立した事業所として、任意ISMコードの「適合認定書」の交付を受ける
- 平成21年4月1日 ●鹿児島県公共交通総合案内システム「交通ナビかごしま」への参加
-
- 平成22年1月 ●桜島昭和火口の噴火活動活性化(同年の噴火回数が過去最高の1026回を記録)
- 平成22年1月26日 ●国土交通省より、船舶の安全運航維持のための業務体制・作業環境が確立され、安全管理技術の継続的な改善が確実に実施されている船舶として、第十八櫻島丸が、任意ISMコードの「船舶安全管理認定書」の交付を受ける
- 平成22年3月 ●桜島港施設整備基本計画案を作成(同年4月28日に議会報告及び公表)
- 平成22年4月1日 ●運航ダイヤの改正(176便→172便)
早朝の時間帯の増便(2便増)、一部時間帯の運航間隔の見直し(6便減)
- 平成22年4月 ●宮崎県において口蹄疫が発生(8月末に終息宣言)
- 平成22年4月27日 ●第十五櫻島丸が任意ISMコードの「船舶安全管理認定書」の交付を受ける
- 平成22年5、6月 ●よりみちクルーズ船の試験運航実施(10、11月にも実施)
運航回数:10回(12便) 運航実績:旅客3,740人、車両225台



桜島フェリーのあゆみ

- 平成22年7月1日 ●第1回桜島港フェリー施設整備検討委員会及び幹事会の開催
桜島港施設整備基本計画案の説明、議会からの要望等の説明
- 平成22年9月27日 ●第十六櫻島丸が任意ISMコードの
「船舶安全管理認定書」の交付を受ける

- 平成23年1月 ●霧島の新燃岳の火山活動が活発化
- 平成23年1月27日 ●第2回桜島港フェリー施設整備検討委員会幹事会の開催
施設整備に関する調査結果の報告、建築計画案の説明
- 平成23年2月17日 ●桜島丸(総トン数1,330t・2層積み)竣工
【概要】
建造:中谷造船(株) 建造費:2,488,500千円
「愛称:サクラエンジェル」
起工式:平成22年4月16日 進水式:平成22年11月25日
【特徴】
・電気推進システムやポッド式二重反転プロペラの採用により、二酸化炭素や窒素酸化物の排出量、燃料消費量、振動、騒音を低減
・エレベータを1階から4階展望デッキまで設置、客室に子供・高齢者用のオープンスペース設置、客室ドア全自動化等(バリアフリー基準適合船)
・スーパーエコシップの旅客船では国内最大
- 平成23年2月18日 ●桜島港フェリーターミナルリニューアル
【概要】
・2階床面張替、2階天井・壁面塗替、2階天井LED取付、外壁洗浄等
・総事業費:16,992千円
- 平成23年3月4日 ●桜島丸(サクラエンジェル)竣工式典等を開催
- 平成23年3月10日 ●よりみちクルーズ船の本格運航開始
(12月29日~1月3日を除く毎日運航)
●桜島丸(サクラエンジェル)就航開始
●運航ダイヤの改正(172便→166便)
・午前及び夕方の運航間隔の拡大(7便減)
・「よりみちクルーズ船」の運航ダイヤを設定(1便増)
- 平成23年3月11日 ●東日本大震災発生。1日半欠航。
- 平成23年3月12日 ●九州新幹線全線開業
- 平成23年4月1日 ●船舶内全面禁煙
(船舶リニューアル事業で喫煙室を撤去し、授乳室を設置)
- 平成23年8月9日 ●櫻島丸売船(株)ノーテックジャパン(インドネシア向け)
売船価格:130,000千円
- 平成23年9月8日 ●新船建造検討委員会を設置(第五櫻島丸代替船)
- 平成23年10月5日 ●桜島港施設整備計画を策定
- 平成23年10月18日 ●サクラジマアイランドビュー運行開始
●鹿児島市営バス・電車・フェリー共通利用券(キュート)販売開始
- 平成23年11月25日 ●電気推進船「スーパーエコシップ」建造による環境保全及び、バリアフリー仕様船導入により、「九州運輸局環境保全及び交通バリアフリー等関係表彰」受賞
- 平成23年12月2日 ●桜島丸が任意ISMコードの「船舶安全管理認定書」の交付を受ける



- 平成24年2月2日 ●第1回新船建造検討委員会の開催(新船建造の概要について説明)
- 平成24年3月16日 ●「霧島錦江湾国立公園」誕生
- 平成24年4月1日 ●局制導入(船舶部→船舶局)
●よりみちクルーズ船の運航を年中無休とする
- 平成24年4月5日 ●手を振るお出迎え事業開始
- 平成24年6月6日 ●第2回新船建造検討委員会の開催
(新船建造に関するアイデア募集の結果内容について報告)
- 平成24年7月10日 ●錦江湾魅力再発見クルーズ船プレ運航実施
※報道・市議会・旅行業関係者などを招待乗船者数:210人
※9月29日、10月27日も実施
一般市民が対象 乗船者数:406人
- 平成24年7月13日 ●桜島フェリーマスコットキャラクター
「サクラエンジェルちゃん」着ぐるみお披露目
- 平成24年8月1日 ●イルカはいるかな事業開始
- 平成24年9月20日 ●新船建造基本設計業務委託
- 平成24年12月27日 ●船舶離着岸訓練実施(第十六櫻島丸藤野港)

- 平成25年2月8日 ●第3回新船建造検討委員会の開催(新船建造に関する基本設計について報告)
- 平成25年3月27日 ●鹿児島市船舶事業経営計画(平成25~34年度)を策定
- 平成25年4月1日 ●よりみちクルーズ船における「ファミリー割引乗船券」の発売開始
- 平成25年5月7日 ●桜島港公有水面埋立にかかる環境調査開始
- 平成25年7月10日 ●運輸安全マネジメント評価受検(~11日)
- 平成25年7月20日 ●国際火山学地球内部化学協会2013年学術総会(IAVCEI(ヤブセイ))が鹿児島市で開催(~24日)
- 平成25年9月14日 ●錦江湾魅力再発見クルーズ船正式運航開始(計8回運航)
- 平成25年9月24日 ●桜島・錦江湾ジオパーク認定
- 平成25年10月15日 ●避難港での離着岸訓練(第十三櫻島丸高免港)
- 平成25年10月23日 ●〃 (第十五櫻島丸武港)
- 平成25年10月25日 ●〃 (桜島丸持木港)
- 平成25年11月24日 ●〃 (第五櫻島丸宮下港)
- 平成25年11月29日 ●〃 (第十六櫻島丸西道港)
- 平成25年12月2日 ●〃 (第十八櫻島丸白浜港)
- 平成25年12月24日 ●船窓から見える景観案内事業実施

- 平成26年1月12日 ●桜島大正噴火「防災」100年式典
- 平成26年4月1日 ●一般旅客定期航路事業(桜島-鹿児島航路)の運賃改定
旅客運賃:大人150円→160円に改定。 通勤定期券:4,050円→4,320円に改定。
通学定期券:1,350円→1,440円に改定。 通学定期券(小人):680円→720円に改定。
自動車航送運賃:3m未満820円→880円 3m以上4m未満1,070円→1,150円
4m以上5m未満1,480円→1,600円
手荷物運賃
自転車:100円→110円に改定。 原付(125ccまで):200円→220円に改定。
自動二輪車(750cc未満):310円→330円に改定。 自動二輪車(750cc以上):410円→440円に改定。
- 平成26年5月10日 ●錦江湾魅力再発見クルーズ船春季運航実施 計2回
- 平成26年9月13日 ●錦江湾魅力再発見クルーズ船秋季運航実施 計8回
- 平成26年11月29日 ●よりみちクルーズ船上セミナー実施(2月14日まで計10回)
- 平成26年12月21日 ●東九州自動車道(鹿屋串良~曾於弥五郎)及び大隅縦貫道(串良鹿屋道路)開通

- 平成27年1月 ●桜島の山体膨張について気象庁が注意喚起
- 平成27年3月26日 ●船舶事業80周年記念・第二櫻島丸竣工式典



平成25年9月
日本ジオパーク認定!

桜島・錦江湾ジオパークとは?

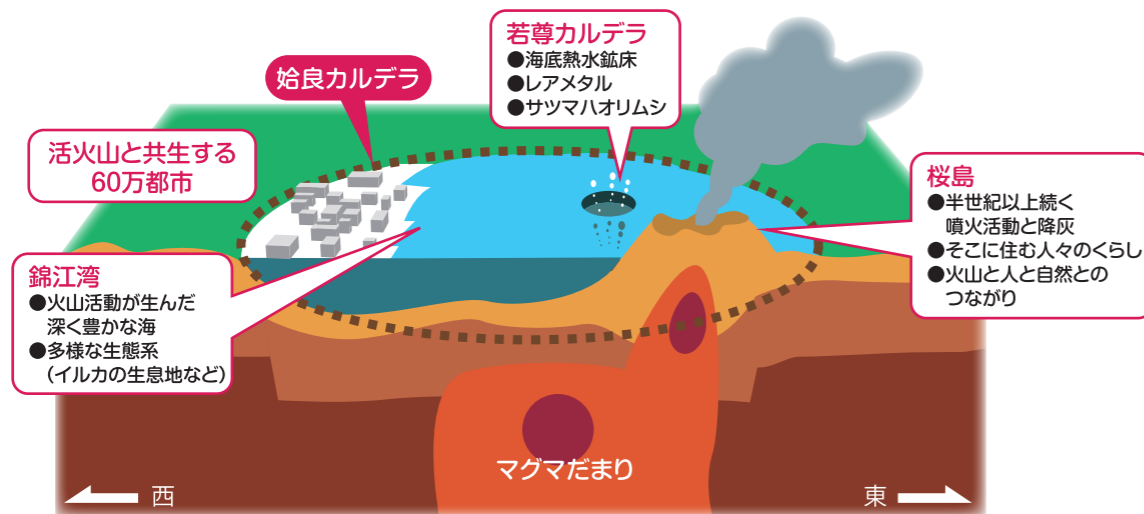
活火山・桜島と火山活動から生まれた海・錦江湾を含むエリアです。本ジオパークの最大の特徴は、活火山の目の前に60万都市が広がっていること。日本最高レベルの火山観測体制のもと、充実した防災対策を行うことで、噴煙の上がる活火山の近くで多くの人々が生活を続けています。世界的にも珍しい活火山と都市の共生が実現していることを受け、平成25年9月に、日本ジオパークに認定され、「桜島・錦江湾ジオパーク」が誕生しました。



桜島・錦江湾ジオパーク

桜島・錦江湾の誕生について知ろう!

桜島が噴火する前、鹿児島湾には巨大な穴があいていました。この穴は始良カルデラと呼ばれ、約29,000年前の巨大噴火によってできたものです。このときの噴火で大量のマグマが噴出、南九州全域を埋め尽くしました。その後約26,000年前にカルデラの南部で起きた噴火でできたのが桜島です。桜島は始良カルデラの「こども」といえます。



桜島と噴火の歴史

桜島の歴史は噴火の歴史とも言われ、今なお噴煙を上げる活火山です。桜島の活動は、大きく2つの時期に分かれています。約26,000年前の誕生から約5,000年前までが北岳の活動、4,500年前から現在までが南岳の活動です。その中でも大正3年(1914年)の大噴火では、流出した溶岩に覆われた面積は約9.2km²、溶岩流は桜島の西側および南東側の海上に伸び、それまで海峡で隔てられていた桜島と大隅半島とが陸続きになりました。

※ジオパークとは=ジオ(地球)に親しみ、ジオを学ぶ旅「ジオツーリズム」を楽しむ場所です。自然に関する知識を共有し、生態系や人の生活と関わりを考える場です。

「桜島・錦江湾ジオパーク」ジオサイトへ行こう!

20か所のジオサイトには、雄大な自然を体感できるスポットや、歴史や地質を学べるスポットがあります。それぞれの場所で地球(ジオ)を学び体感しよう!



1 湯之平展望所



2 溶岩なぎさ遊歩道



3 黒神埋没鳥居



4 月読神社



5 黒神ビュースポット

※その他のジオサイトについて詳しくはこちらのQRコードからアクセスしてご覧ください。



ジオパーク体験プログラムイベント

今後はさらに、気軽にチャレンジできる体験プログラムやしっかり学びたい人のためのセミナーやシンポジウム、各種プロジェクトなども充実していきます。



桜島GEOツアー



溶岩でピザ作り



桜島火山ガイドウォーク

※詳しくはお問い合わせください。桜島錦江湾ジオパーク推進協議会(鹿児島市観光プロモーション課内) TEL.099-216-1313